



ボランティアプログラム共通「事前学習Ⅰ」

ボランティア プログラム共通

「事前学習Ⅰ」 報告

2017/06/ 11



講師をしていただいた室田先生



グループワークの前に緊張を解きほぐす

6月11日(日) 13:00~16:30、首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館にてボランティアプログラムの「事前学習Ⅰ」を実施しました。ボランティアプログラムは、学習と連動した活動を年間を通して行うもので、「スポーツ」と「地域」の2種類があります。初顔合わせとなる今回は、プログラム共通で実施し、「スポーツ」が14名、「地域」が11名の合計25名が出席しました。講師は、ボランティアセンターのアドバイザーでもある、都市教養学部 人文・社会系 社会学コースの室田信一先生にご担当いただきました。

◆事前学習の様子

5グループに分かれ、決められた座席に着席した学生達は、初めは緊張した面持ちでしたが、グループ内での自己紹介や風船バレーをしていくうちに、その場に馴染んでいきました。リラックスした雰囲気の中、グループファシリテーターが中心となり、グループワークが始まりました。前半はボランティアについての室田先生の実体験のお話もあり、ボランティア活動への動機について考えを共有し、発表しました。次にグループチェンジを

して、「スポーツ」と「地域」それぞれ2年目の経験のある学生からの説明を聞いたあと、2つのプログラムの社会性について、模造紙や付箋を使用して自分の考えを表現しました。

後半は、ワールドカフェ方式という、一定時間に1人を除いて席を移動し他のグループに参加して、模造紙に意見やイラストを書き込むやり方での情報共有をしました。そして、最後に椅子で円陣を組んで「ボランティア宣言」をしました。1枚の紙に宣言したいことやイラストを書き、一人ひとり発表し、学生全員の熱い思いが伝わった場となりました。

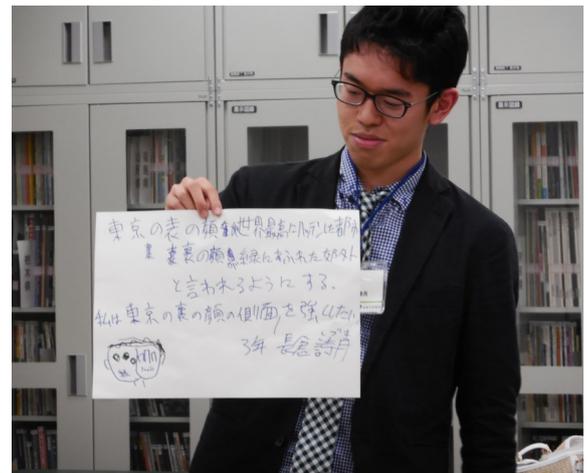
◆参加した学生からの声

「ボランティアの事前学習についてイメージが湧かなかったが、参加することで意義を理解し、志を持つことができた」また、「多くの人の前で自分の意見を発表したり、他の人の意見を聞くことで、自己の動機が明確化できた」など、事前学習を通して、ボランティア活動を始めにあたっての心構えが自然に身についたのではないかと思います。



グループワークの様子

「ボランティア宣言」



東京の老の顔と世界最長の101は都
表裏の顔と世界最長の101は都
と言わさるるようにする。
私は東京の表の顔の側面を強調した
3年 長谷詩